

通園バスの統一についての保護者と行政側の懇談会がスタートしました。先の厚生常任委員会で市側が橋爪議員に約束した取り組みのひとつです。

吉川中央保育園、旭保育園（いずれも吉川区内）の懇談会の様子を見て思ったことは、子育て支援課の説明だけに終わってしまっているきらいがあることです。1つの園での時間は15分しかとってありません。2つの園で発言した保護者はわずか2人だけでした。これではもったいないとおもいました。

## もっと保護者の生の声を出してもらおう工夫を…通園バス制度統一問題

あらかじめ資料を配っておいて、発言の準備をしていただく。説明者はなるべく、同年代の顔見知りの人にやってもらう。こういった工夫をぜひやってほしいものです。それともう一つ、保育園保護者と懇談するなら、通園バス以外のことも発言できる柔軟な運営も必要なのではないでしょうか。



(写真は旭保育園にて撮影)

た工夫をぜひやってほしいものです。それともう一つ、保育園保護者と懇談するなら、通園バス以外のことも発言できる柔軟な運営も必要なのではないでしょうか。

## 日本共産党上野公悦議員ニュース

89 2007年4月15日  
 連絡先 杉本敏宏 524-3787 (東本町5)  
 樋口良子 544-6802 (中門前3)  
 橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)  
 事務局長 上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

今回得票 7721 (得票率 7.8%)  
 05総選挙比例 6446 (得票率 5.2%)  
 04参院選比例 5647 (得票率 5.5%)

# 公約実現に向け早速始動 …日本共産党、上野公悦先頭に

投票日の翌日、9日、上野公悦市議団事務局長が市内各地でマイクを持って訴えました。「残念な結果にとどまりましたが、訴えた内容は、県民の利益と道理にたったものと確信しています。今後は、公約実現にみなさんとともに全力をつくすとともに、もっと力をつけて勝利できるようにがんばりたい」。上野事務局長のこうした姿を見て、手を振る人、クラクションを鳴らす人が大勢いました。電話やメールでも「大丈夫か、がんばってくれ」などと心配してくださる方が何人もいました。うれしいことです。

8日投開票の県議選、日本共産党は上野公悦市議団事務局長を擁立してたたかいました。土木費比率全国第3位、福祉予算は全国最下位。大手企業には多額の補助金を出しながら、生活苦にあえぐ県民にはちょぼちょぼ、こんな逆立ちした県政は変えましよう、訴えました。また、新幹線開通後も在来線を守る、柿崎病院の存続など上越地域に住む人たちの願いを7つの公約にまとめ訴えてきました。

私たちの訴えは共感を呼び、マスコミでも「共産党の存在感」を感じさせるほどの盛り上がりをつくり出すことができました。他党派からも「日本共産党の最適、最良の候補」と言われながら、直近の国政選挙の比例票を1300票から2100票上回るだけで終わってしまったことは誠に残念でなりません。

今後は議会活動や日常的な要求実現活動、生活相談活動などにいっそう力を入れて捲土重来をきしたいと思しますので、ご支援よろしく願います。

